

第5回 竹野地域 デザイン懇談会を開催しました

「第5回竹野地域デザイン懇談会」を、11月20日（土）中竹野地区コミュニティセンターで開催しました。「地域デザイン懇談会」とは、地域に必要な施設・公共サービスの提供機能について、市民の方々と一緒に議論する場です。

今回の懇談会では、第4回（10/16開催）において、参加者の皆さまに建物平面図等を用いて、複合化・多機能化について議論していただきましたので、まずその結果について振り返りを行いました。

次に、年代別のグループに分かれ、延床面積削減という目標を達成するためには、どのように考えるべきかを今回も平面図や位置図を使って話し合い、さらに民間に委ねても良い施設や機能はないかについても議論していただきました。

最後に各グループワークの結果を発表し、全体で共有しました。

懇談会の様子



第6回 竹野地域デザイン懇談会の開催について

【第6回開催日時】

日時：2021年12月19日（日）午前10時から

場所：竹野南地区コミュニティセンター

【傍聴について】

傍聴を希望される方は、竹野振興局地域振興課へお申し込みください。

(1) 申込先：電話番号 47-1111 Eメール：takeno-chiiki@city.toyooka.lg.jp

(2) 申込時連絡内容：① 氏名 ② 住所 ③ 連絡先電話番号

(3) 申込期限：2021年12月17日（金）

次回がいよいよ
最終回！！

参加者の皆さまからの意見の一部を紹介します

Aグループ

●竹野B & G海洋センター

(小中一貫校による、竹野小学校の移転が前提)

現在の場所は立地が悪く、利用者が少ないので、竹野小学校跡地にB & G海洋センターを移転

⇒プールは現竹野小学校のプールを利用し、体育館を移転・新築

⇒プールにインストラクターを配置して、小中学校の水泳授業もしてもらえば、先生の負担も減る

⇒健康福祉センター、子育てセンターも同居できれば、グラウンドも使え、現竹野小学校を避難所として残せるのではないかと

Bグループ

●子育てセンター

⇒健康福祉センターの中に事務所を移転

⇒遊具はこども園のものを利用

●竹野心身障害者小規模通所作業所（なかよし園）

⇒健康福祉センターの中に作業所も移転

●竹野B & G海洋センター

⇒B & Gの機能を、学校の跡地利用として、中竹野小学校と竹野南小学校へ分散する（武道は中竹野、プールは竹野南など）

Cグループ

●竹野B & G海洋センター

⇒無理に維持するのではなく、各学校を利用すれば良い

●防災機能について

⇒サービスは民間でも良いが、建物が市の施設で無くなると避難所が無くなるのでは

⇒災害を考えた場合、逃げるだけでなく、生活できる避難所として大きい施設が必要ではないかと

⇒施設を民間に渡しても、避難所として利用できるよう協定を結べば良いのでは

Dグループ

●中竹野小学校と竹野南小学校

⇒地区だけでは管理は困難、民間企業で校舎を活用

●竹野観光センター

⇒竹野北前館の中に移転

●東大谷野外活動施設（たけのこ村）

⇒ログハウスは残し、使用していな研修棟は除却

●竹野B & G海洋センター

⇒プールは廃止し、現在の各小学校のプールを利用

●子育てセンター

⇒直営管理のまま、健康福祉センターの中に移転

◇ご意見・ご感想◇

- ・サービスを維持・向上させ、ハコ（建物）を絞る。現実的ではないかもしれないが、いろいろな意見、考えを出し合えて良かった。
- ・どのような公共施設でも、立地や使用方法など、住民の施設への心理的アクセス性は利用率につながるのではないかと思います。
- ・町をデザインすること、施設を減らしていくということは、大変難しく感じました。
- ・概ね良い検討ができた。今後同じような公共施設見直しの議論が、近い将来（数年で）再燃しない事を願います。

【参加者アンケートより】

当日の配布資料など、詳細は市ホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進室 電話 21-9129
竹野振興局 地域振興課 電話 47-1111